

# 海外活動報告

## (ベトナム)

●訪問地

ベトナム(ハイフォン市・香川県交流都市  
ハノイ市、ダナン市、フエ市、カントー市、  
クワンビン省、ビンズオン省)

●訪問日程

一回目 自 2019 年 9月16日(月)  
至 2019 年 9月21日(土)

二回目 自 2019 年10月14日(月)  
至 2019 年10月20日(日)

三回目 自 2019 年11月10日(日)  
至 2019 年11月13日(水)

四回目 自 2020 年 1月 9日(木)  
至 2020 年 1月15日(水)

2019 年度のベトナム訪問のテーマは

- 1) 介護・自動車分野に加え IT 分野の留学生獲得の可能性について調査  
また、この分野でのインターシップの可能性について調査
- 2) 2018 年度提携を結べたハイフォン市の2つの短大において学生・保護者を対象にした説明会を実施。香川留学を具体的にする。
- 3) 香川県の交流都市であるハイフォン市の外務局を通じ、教育行政との接点を開拓する。
- 4) ベトナムにおいてハイフォン市以外のエリアにおいて新規の提携校を開拓する。

訪問者:

9 月 17 日・18 日 ハノイ市・ダナン市

香川県専修学校各種学校連合会/ 事務局長 亀本浩史

9 月 18 日・19 日 ハイフォン市

香川県専修学校各種学校連合会会長/穴吹カレッジグループ専務理事 大平康喜

香川県専修学校各種学校連合会/ 事務局長 亀本浩史

9 月 20 日 カントー市 大平・亀本

10 月 15 日・16 日 クワンビン省 大平・亀本 専門学校広報担当者 伊藤・森川

10 月 17 日 ハイフォン市 大平・亀本 専門学校広報担当者 伊藤・森川

10 月 18 日・19 日 ダナン市 大平・亀本 専門学校広報担当者 伊藤・森川

11 月 11 日 ハイフォン市 大平・亀本

11 月 12 日 フェ市 大平・亀本

1 月 11 日 ビンズオン省 亀本

1 月 12 日 ハイフォン市 大平・亀本・専門学校広報担当者兼通訳ハン

香川県専修学校各種学校連合会会長/ 四国医療福祉専門学校 校長 森 國夫

1 月 13 日 クワンビン省 大平・森・亀本・ハン

1 月 14 日 フェ市 亀本・ハン

## 1. ベトナム IT 人材についてのヒアリング (ハノイ市・ダナン市)

概要:

JICA 四国からの紹介 石丸氏は香川県とベトナムとの農業分野での事業の担当者。ベトナムにおける IT 人材不足、カントー市を含むメコンデルタエリアでの日本語教員不足について聞く。JICA はカントー大学強化支援事業(2015-2022)にて高等教育協力をしている。学内に常駐スタッフを配置日本からの連携支援をしている。カントー大学の紹介を受ける。

香川県に本社を置くIT企業ほか日本からベトナム進出し、ベトナム人材を雇用している企業6社を訪問。

## 2. カントー市

概要:

JICA と百十四銀行の紹介により、国立カントー大学はじめ3つの教育機関に訪問。カントー市の日本語教育ニーズとIT人材の日本へのインターンシップ需要についてヒアリングを行った。

香川県のIT企業へのインターンシップが実現(2020年2月以降提携予定)

## 3. ハイフォン市立医療短期大学 (ハイフォン市)

概要:

昨年からの懸案であった提携についてはハイフォン市外務局の後押しもあったが、すでに技能実習の部分で提携している日本の団体もあり。2019年度も提携は難しかった。しかしながら、昨年度の説明会では学生の反応は悪くなく、留学のニーズも確かに感じる事ができた。引き続きアプローチを続けていきたい。

## 4. ハイフォン市立工科短期大学 (ハイフォン市)

概要:

2018年度の提携校であり、副校長、日本語教員(JICA事業で香川県で仕事した経歴あり)、学生を招聘した。昨年に続き

1月12日(日)留学説明会を実施し、約30組の学生と保護者が参加した。

この場で香川を訪問した副校長と学生の Hoang Van Thang さんがみずからの経験を学生の前で話した。来年秋に香川留学が実現の予定。

## 5. 私立バックゲ短期大学 (ハイフォン市)

概要:

2018年度の提携校であり、校長、学生を招聘した。

10月17日(木)説明会を開催し、短大生・系列高校から約200名が参加した。

これを受け香川に留学することに興味を持った学生対象に1月12日(日)留学説明会を実施し、約40組の学生と保護者が参加した。

この場で香川を訪問した校長と学生の Le Thanh Hoang さんがみずからの経験を学生の前で話した。来年秋に香川留学が実現の予定。

## 6. ハイフォン市立教育訓練局

概要:

ベトナムの小学校から高校までを管轄する教育委員会的機関、ディエン局長自身が日本への留学経験があり、若年期から日本語・文化・習慣を学ばせ留学・技能人材として日本へ送り込みたい構想を持っている。ハイフォン市としても文教エリアの大規模開発の計画があり、ハイフォン市には51万人の中高生と7万人の高校生(65校)があり、特に農村エリアの子供たちに日本語を学ばせ日本で働かせたい。日本語学習については人民委員会や日本国際交流基金をはじめ民間からの協力も要請したい。今後は日本語教育をはじめ、留学についての連携を図りたい旨要請があった。

## 7. 国立マリタイム大学附属 JAPAN-MEKONG 物流トレーニングセンター

(ハイフォン市)

概要:

2018年訪問した国立マリタイム大学からの紹介により物流人材の養成機関を訪問。日本基金により設立された訓練施設であり、実務訓練の他、日本語の教育をし、人材を送り出す機関としたい。今後日本語教育の部分において連携の可能性について協議していく。

## 8. クオンビン省教育機関

概要:

クオンビン省は人口90万人と香川県と人口規模も似ており、特に地場の産業もないことからリゾート開発を進めており、観光産業に可能性のあるエリア。優秀な人材はハノイへ流出し、国立のクオンビン大学もあるが優秀な人材は国境近いラオスからの留学生も多い。

**国立クオンビン職業教育センター** ベトナム青年共産党によって設立された職業訓練校、技能実習、特定技能の教育を主に行っており、日本語を学ぶ学校もある。香川県への留学実績もあり。

**クオンビン職業短期大学・クオンビン医療専門学校** クオンビン省は裕福な層は進学を大都市に求める傾向にあるため職業教育学校の日本へのイメージは技能実習生を送り出す先のイメージが強いと感じた

**国立クオンビン大学** 11の学部があり、学生1100人のうち外国語を学ぶのは約400名。IT人材のインターンシップ先として日本に関心が高いこと、また観光の人材も優秀な人材が多く、香川県専各との提携を結ぶことができた。

**2020年1月13日調印**

## 9. ドンアン職業短期大学（ビンズオン省）

概要:

百十四銀行からの紹介により訪問、ホーチミン市近郊で2つの大規模物流団地を経営する会社の系列校。ビンズン省は東急が開発に携わった工業団地 V-ship の近くでありここへの人材供給も担っている。工業から観光・美容・医療と学ぶ学科は多く、日本語を学ぶ学校もある。5000人が学ぶ学校。海外との交流も積極的に行われており、ホテル部門では韓国の交換留学生在が学んでいた。

## 10. フェ外国語大学（フェ市）

概要:

以前から穴吹学園が留学提携を結んでいる学校、学生交流の際に香川県専各としての留学生説明会の実施を要請。

1月14日（火）説明会実施 30名が参加

### 11. エール学園（大阪市）主催「国際人財活用ネットワーク交流会 in ダナン」視察

概要:

専門学校として海外交流の歴史のあるエール学園の海外交流イベントに参加

10月18日 現地の大学・ダナン市をはじめとする行政機関の訪問の他

10月19日はダナン外国語大学、ダナン工科大学、フェ大学の学生との交流会が開かれた。

現地行政、大学、現地企業、および日本から参加していた企業とのエール学園との深い信頼関係を感じることができた。今後、香川県専各連として海外での活動を成長させていく上で、ネットワーク構築の重要性を改めて認識することとなった。

総括:

- ・福祉分野・自動車整備における人材供給に関してのPRを計画していたが、IT分野においても既にベトナムの優秀な人材を登用している日本企業も多く、最終年度はIT人材に関してのヒアリングも行った。

- ・今年度は国立クワンビン大学と連携調印ができ、ベトナム通信大手 FPT 社の運営する FPT 大カントーキャンパスと香川県企業とのインターンシップ連携も視野に入ってきた。

- ・香川県との交流都市であるハイフォン市において、小学校から高等学校までを統括する教育訓練局では日本語の授業を早期に取り入れ日本への人材供給を計画しており、協議を継続していく。ハイフォン市外務局の後押しもあり、20年度秋より香川留学生受け入れ予定